



栗田工業株式会社 (東証一部：6370)

個人投資家様向け会社説明会資料

2021年3月11日

- ① 企業概要
- ② クリタグループのビジネス
- ③ これからのクリタグループ
- ④ 資本政策と株主還元

企業概要



商号	栗田工業株式会社
所在地	東京都中野区中野4丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
資本金	13,450百万円
設立	1949年7月13日（神戸）
従業員数	7,569名（連結） 1,593名（単体）

2020年9月30日現在

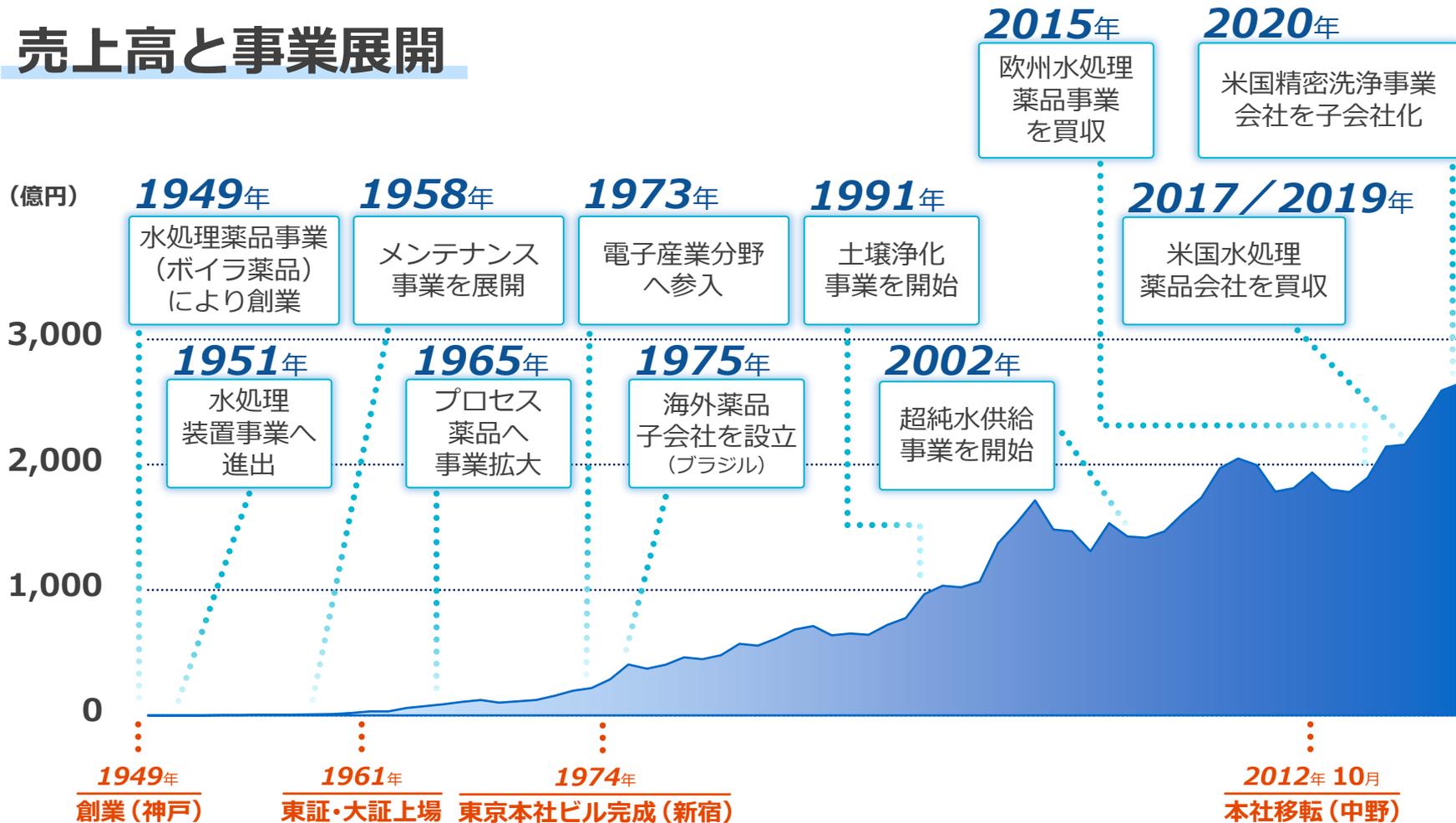
代表取締役社長
門田 道也



企業理念

“水”を究め、自然と人間が調和した
豊かな環境を創造する

売上高と事業展開



クリタの基盤となる事業の確立

環境企業としての発展/電子産業でのポジション確立

新たなビジネスモデルの展開とグローバル化

事業構成（売上高構成比）

水処理装置



超純水製造装置



用水処理装置



排水回収装置



水処理装置のメンテナンス



排水処理装置



土壌浄化

- 精密洗浄
- 超純水供給事業

- 化学洗浄

水処理薬品



ボイラ薬品

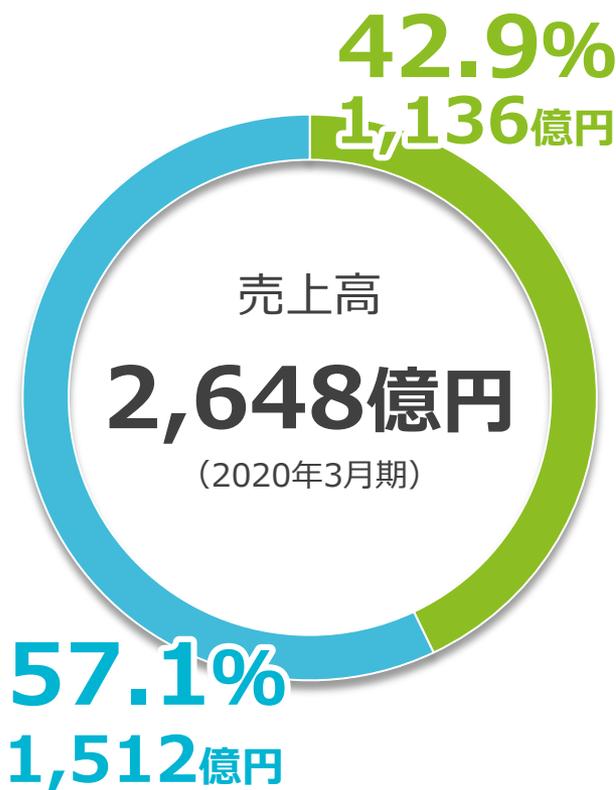


排水処理薬品



冷却水薬品

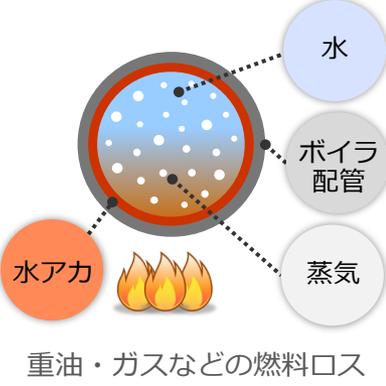
- プロセス薬品
- 契約型商品



水処理薬品 (ボイラ)

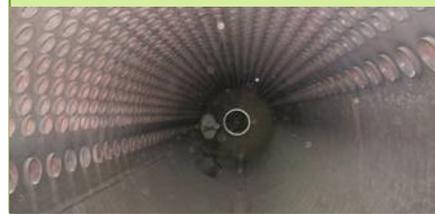
適用前 配管の内側に水アカなどの汚れが付着





水
ボイラ配管
水アカ
蒸気
重油・ガスなどの燃料ロス

適用後 配管に付着物なし





加熱・暖房などに使用
燃料ロスの削減・高効率運転

水処理装置

工業用水
水道水
地下水

【超純水製造】

RO膜 + UF膜 + イオン交換樹脂



+



+

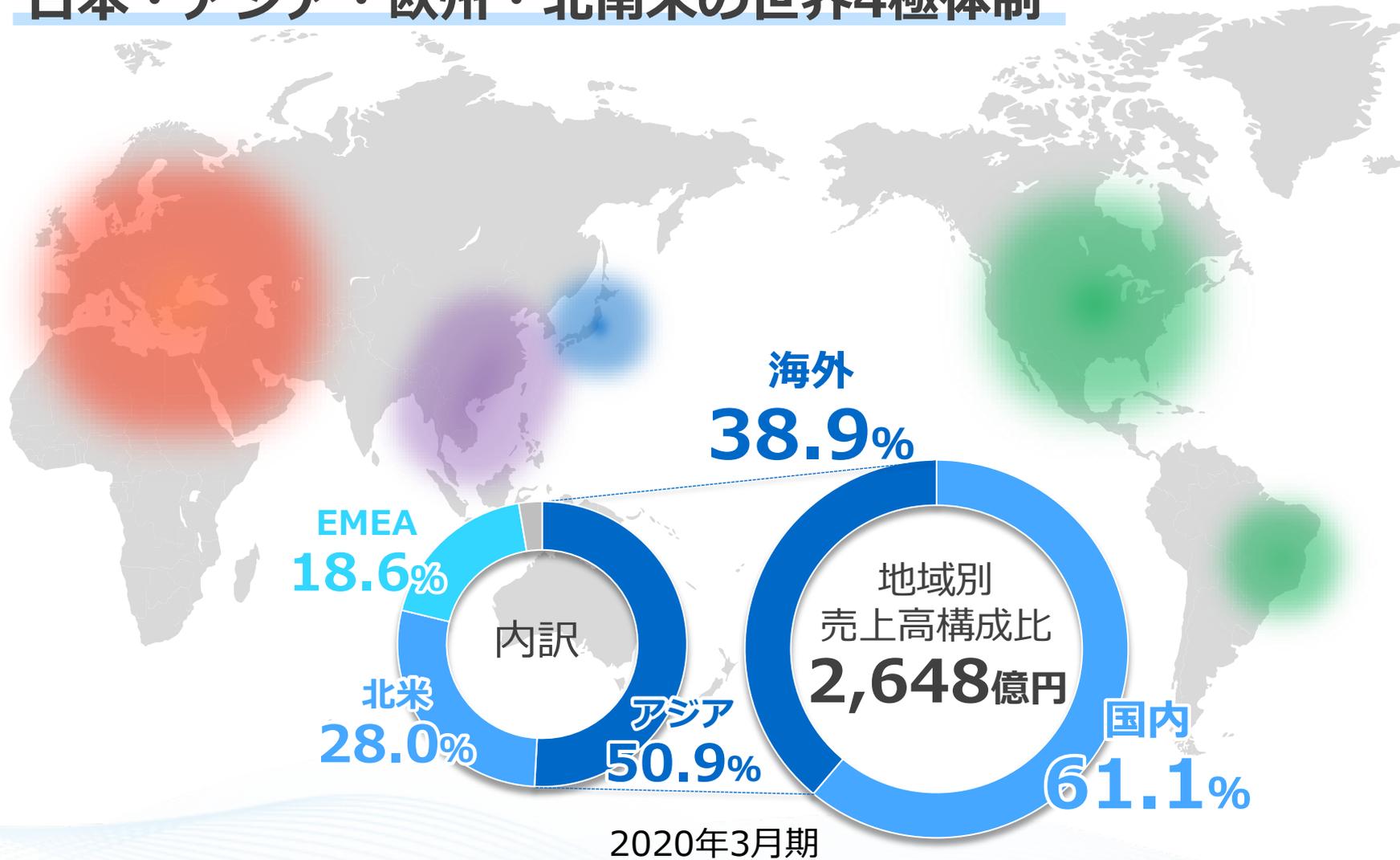


不純物のない水に近づける

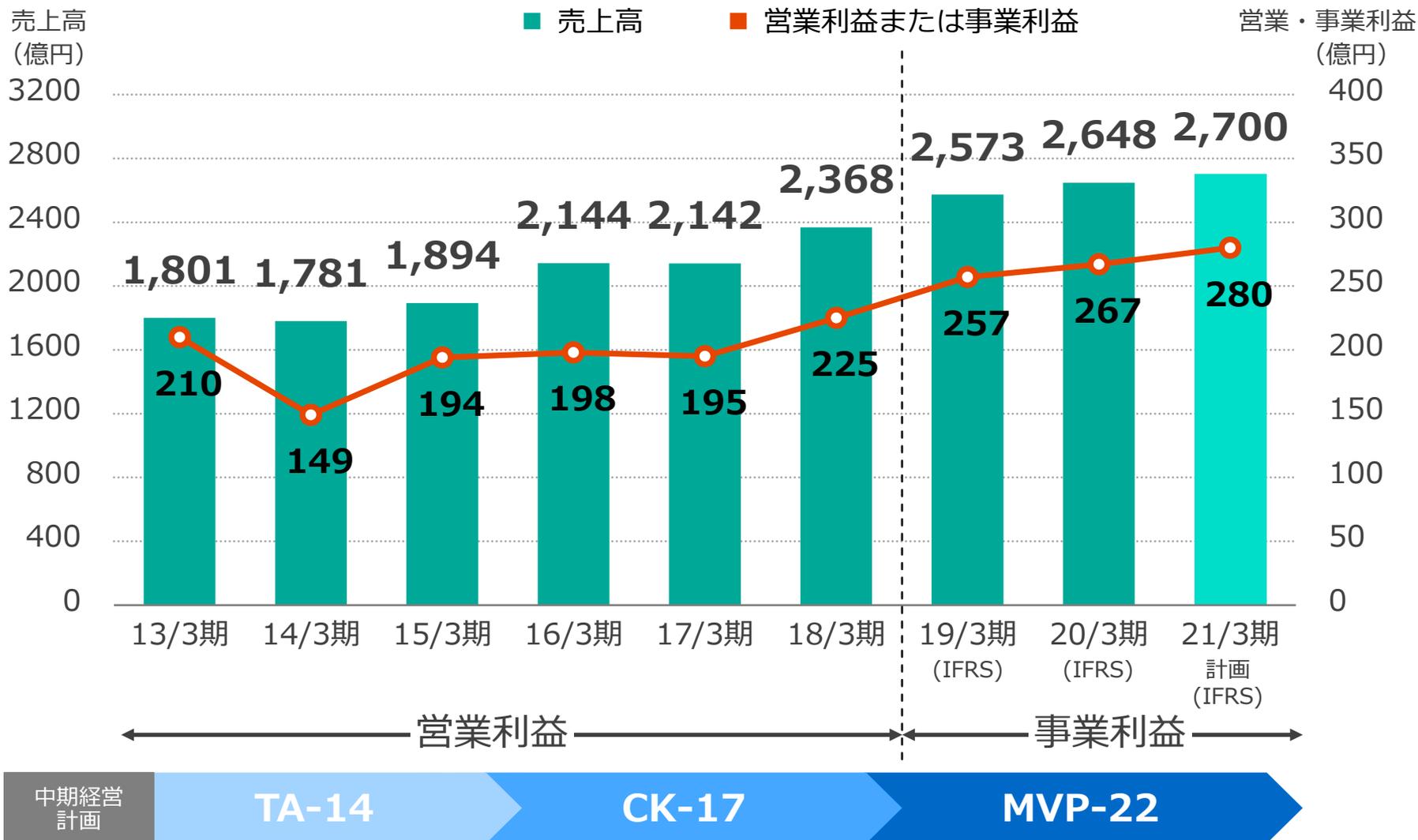
超純水

液晶、半導体などの洗浄に使用

日本・アジア・欧州・北南米の世界4極体制



売上高および利益の推移



※当社グループは、2020年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。

クリタグループのビジネス

Before

CO₂ (温室効果ガス)

気候変動
(異常気象・自然災害)



あらゆる業種のお客様

ユーティリティ



生産プロセス



工業用水
水道水・海水

地下水

地下水枯渇・地盤沈下

土壌・地下水汚染

埋立処分場のひっ迫

廃棄物

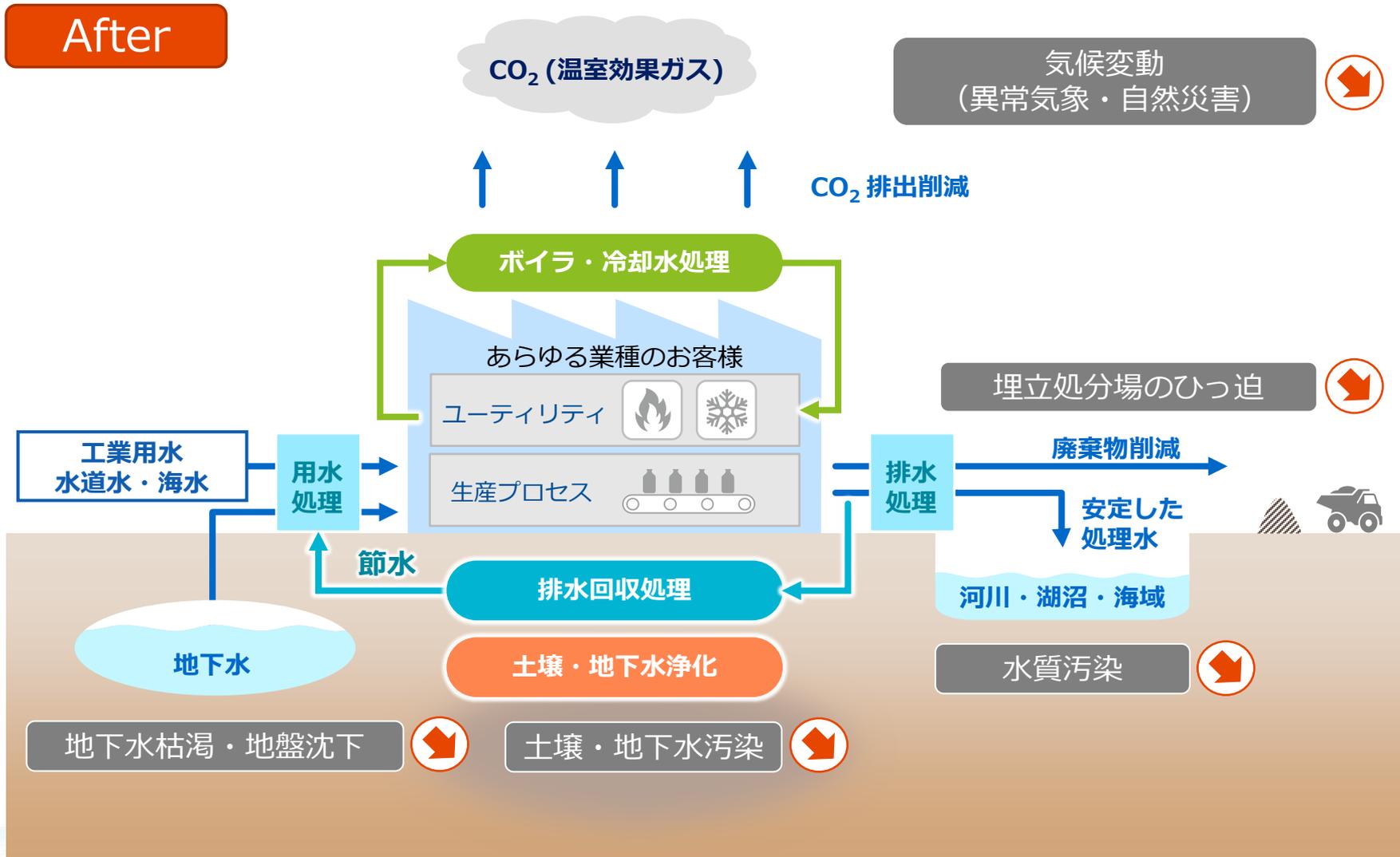
排水

河川・湖沼・海域

水質汚染

水処理の貢献

After



安定した事業基盤を構築

商品別構成



顧客業種別構成



2020年3月期国内単体構成比 (売上高金額ベース)

成長が期待される電子産業向けを中心にあらゆる産業が対象

ハードウェア

- 用水処理装置
- 排水処理装置
- 排水回収装置

国内一般産業向け

597億円
39.5%

サービス

- メンテナンス
・ 運転管理
- 土壌浄化
- 化学洗浄

装置事業売上高構成



ハードウェア

- 超純水製造装置
- 排水処理装置
- 排水回収装置

国内電子産業向け
および海外

915億円
60.5%

サービス

- メンテナンス
・ 運転管理
- 精密洗浄
- 超純水供給事業



インプット

- 基盤技術
・新技術
- 水処理ノウハウ
- 販売ネットワーク

お客様の現場

日常
診断

課題の
特定

解決
提案

お客様

アウトプット

- 歩留まり改善
- コスト軽減
- 省エネ
- 節水
- 廃棄物削減

フィードバック



設備の建設

保有

運転管理

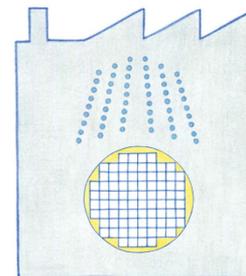
メンテナンス

長期契約の締結

安定的な収入



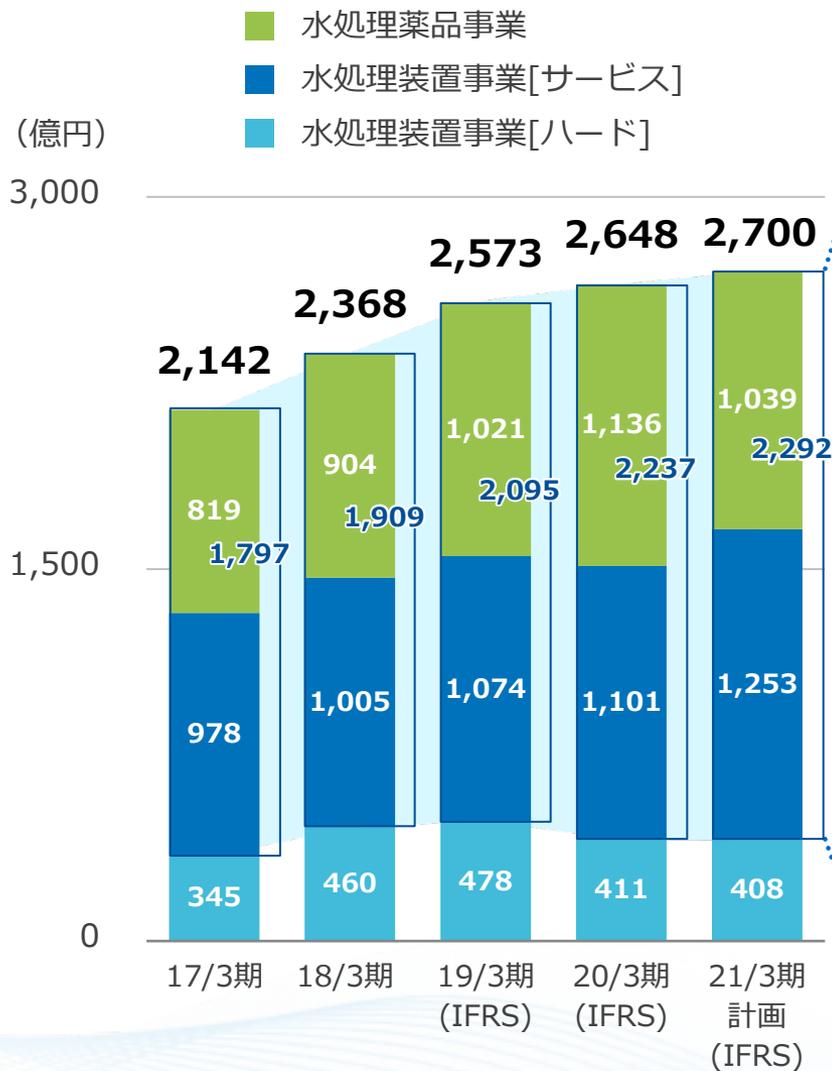
お客様の製造棟



初期投資不要・
運転管理コストの平準化

経営に集中

[強み] 事業の特長 ～高いサービス事業比率～



安定した収益を生む
サービス事業の比率

84.9%



水処理薬品事業



超純水供給事業



精密洗浄事業



メンテナンス・
運転管理ほか



土壌浄化事業

これからのクリタグループ

基本方針

既成概念を壊し、仕事の品質とスピードを飛躍的に高め、顧客親密性を最大化する。

重点施策

- CSVビジネスの展開
- プラント生産体制の再構築
- 研究開発の基盤強化と推進
- 総合ソリューションの拡充
- 新事業の創出とイノベーション推進
- グループガバナンスの体制整備

収益性と資本効率を重視

売上高
年平均オーガニック成長率

3%以上

売上高事業利益率

15%

投下資本利益率 (ROIC)
による事業セグメント管理の導入

事業セグメントごとに
資本効率の向上を目指す

親会社所有者帰属持分当期利益率
(ROE)

10%以上

CSRに関する方針

水と環境の問題にソリューションを提供し、未来への責任を果たす

基礎テーマ

1. 安全性の高いサービス
・製品を提供する



2. 公正に事業を行う



3. 人権を
尊重する



リスク対応強化

成長機会テーマ (=CSV)

4. 水資源の問題を
解決する



5. 持続可能なエネルギー
利用を実現する



6. 廃棄物を削減する



7. 産業の生産技術を進歩させる

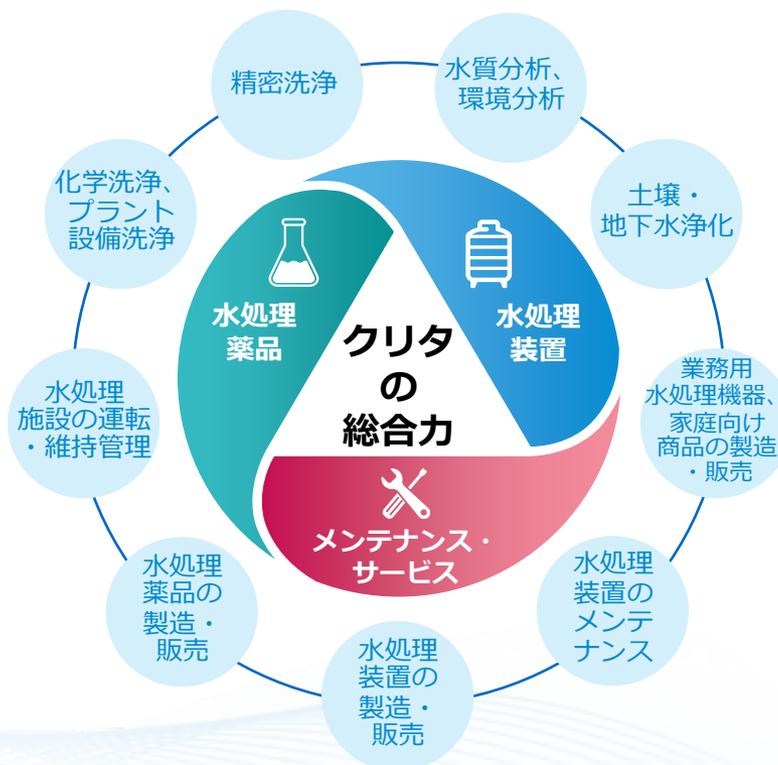


事業競争力向上

各事業の製品・技術・サービスの駆使



お客様への
提供価値

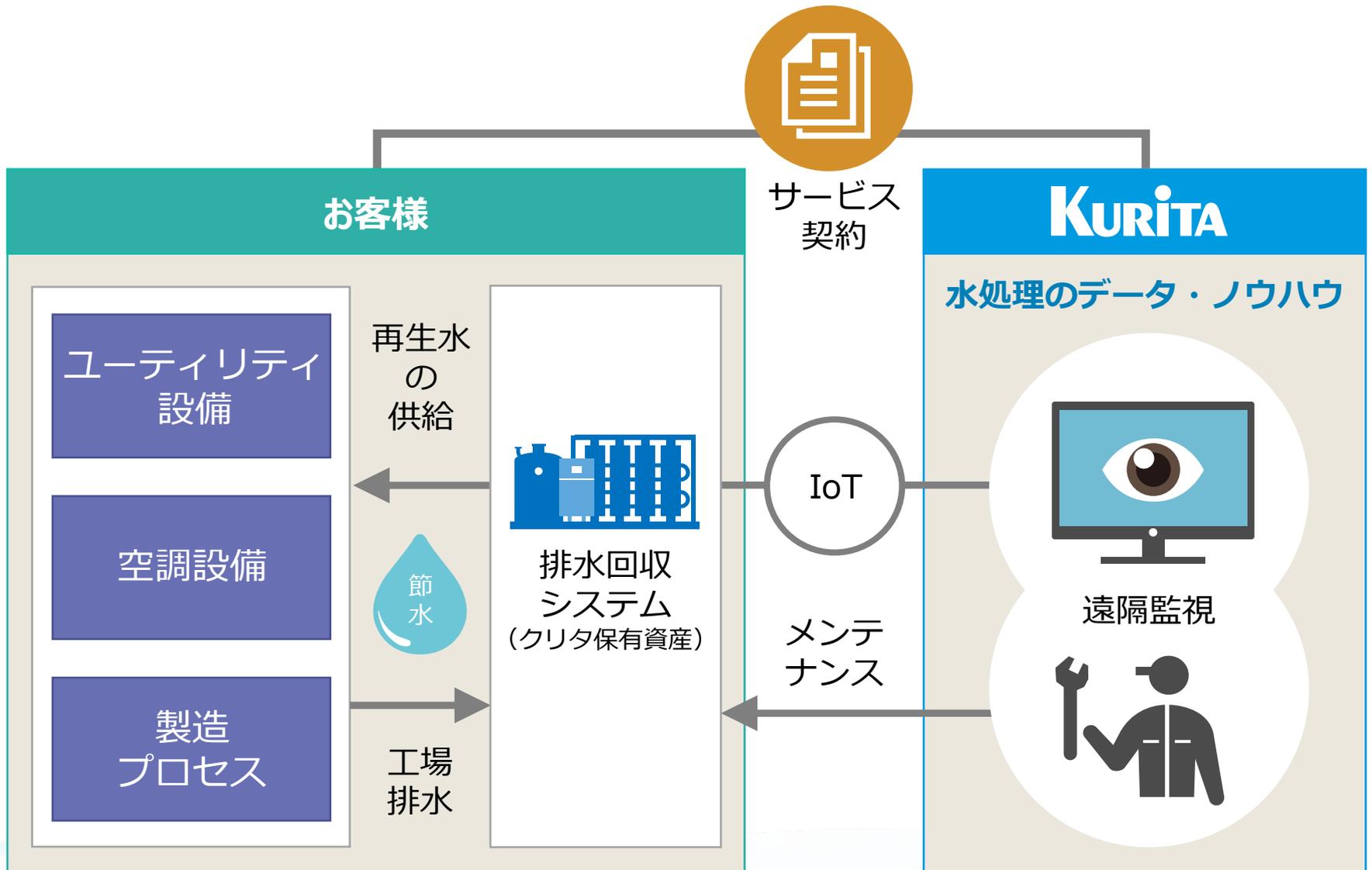


総合
ソリューション
の提供

包括契約型
ビジネス



- 節水
- 省エネルギー
- 廃棄物削減
- 生産性向上



水へのアクセス支援

アフリカの清潔な水利用と
衛生環境改善を支援



人材の育成

- 小・中・高校への出前授業
- 高校生科学技術チャレンジ (JSEC)への協賛



ESGインデックスへの組み入れ

FTSE4Good
Index Series



FTSE4Good

FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan

MSCI ACWI ESG
Leaders Index

2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

SOMPO
サステナビリティ
インデックス

2020



Sompo Sustainability Index

ESG格付け機関からの評価

ISS-ESG

Corporate ESG
Performance

RATED BY
ISS ESG

Prime

サプライヤー評価機関からの評価

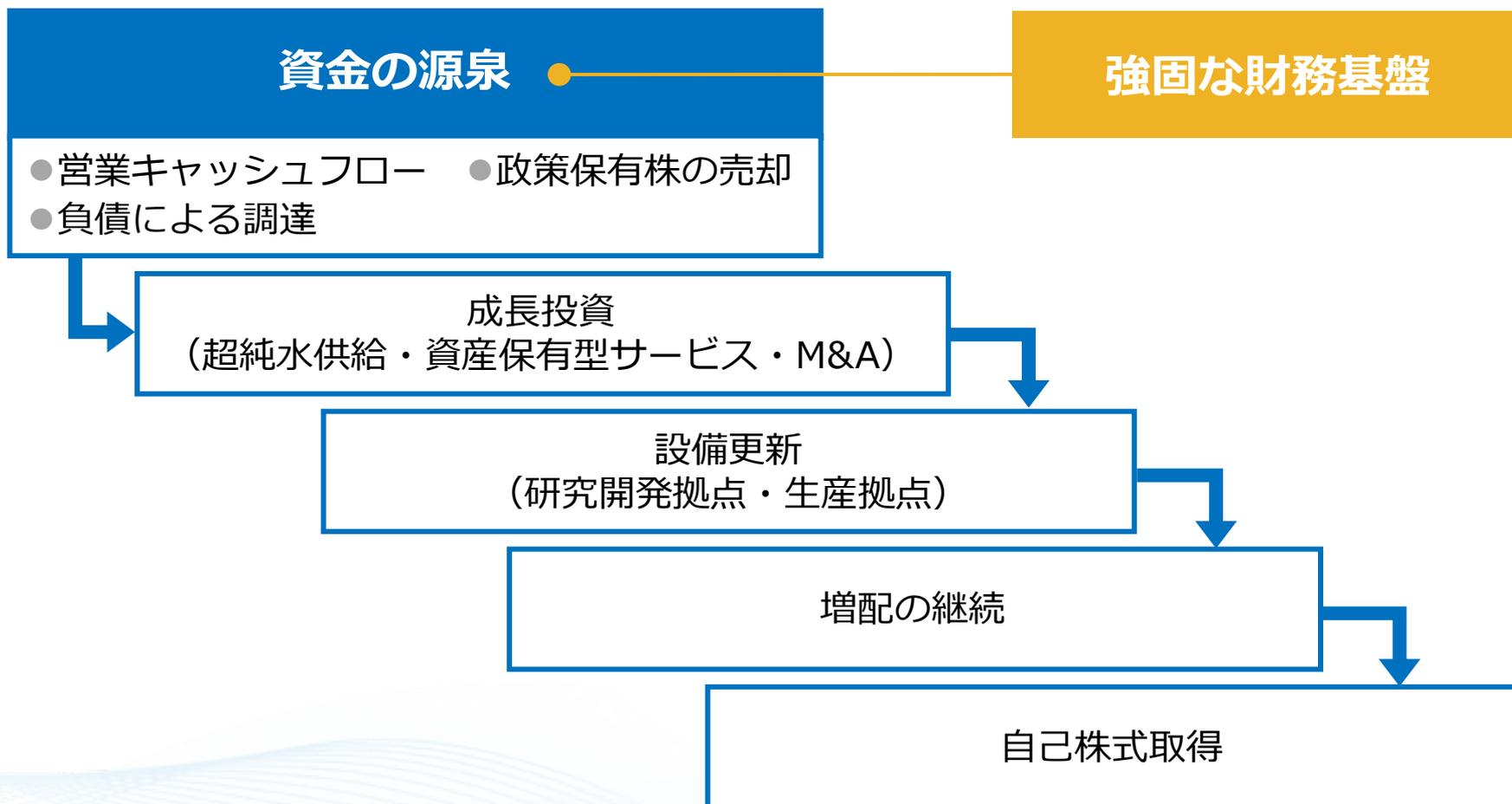
EcoVadis



※ 栗田工業株式会社がMSCIインデックスに含まれること、および本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による栗田工業株式会社への後援、保証、販促には該当しません。MSCIの独占的著作権：MSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

資本政策と株主還元

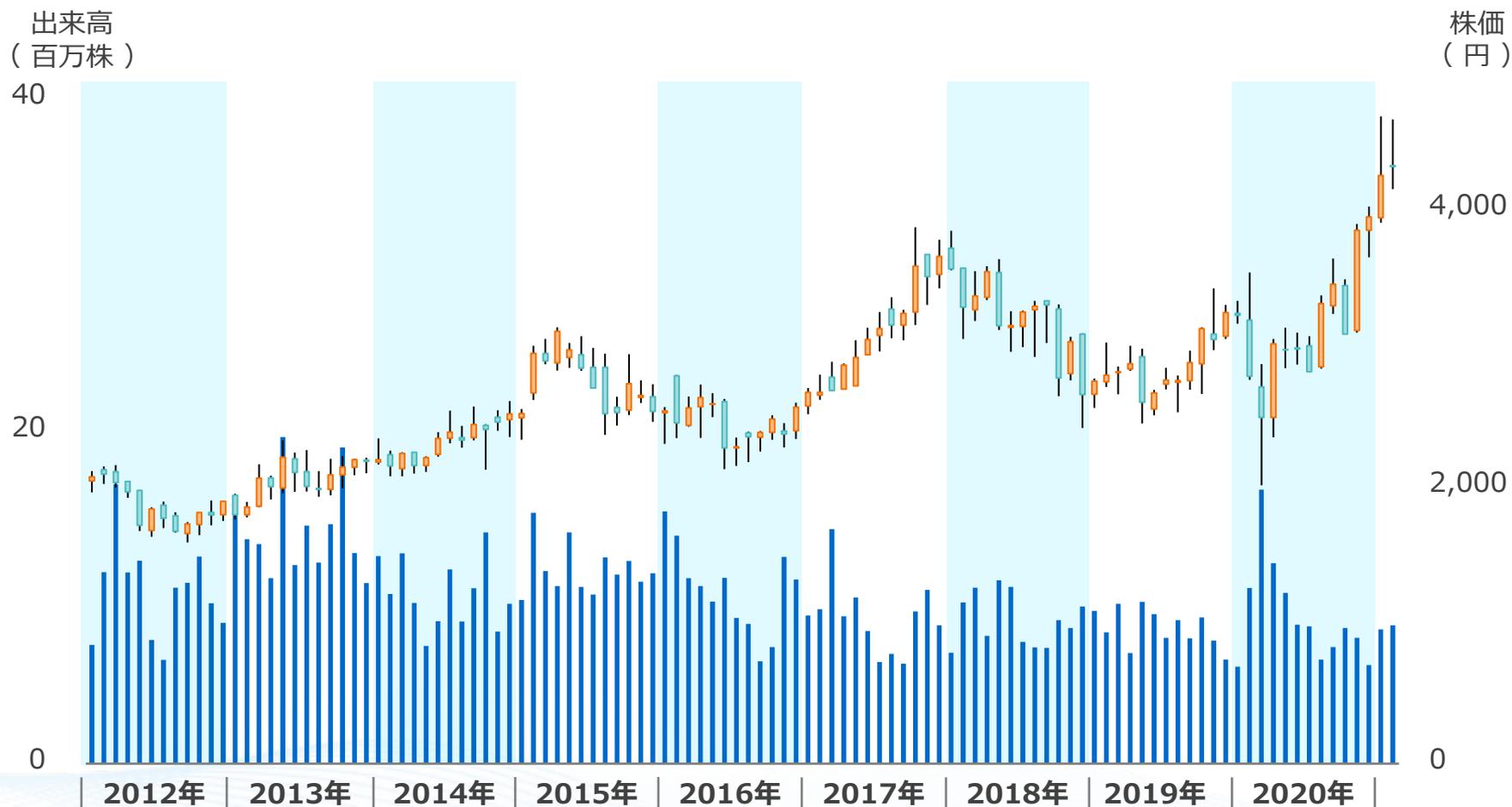
資金使途の優先順位



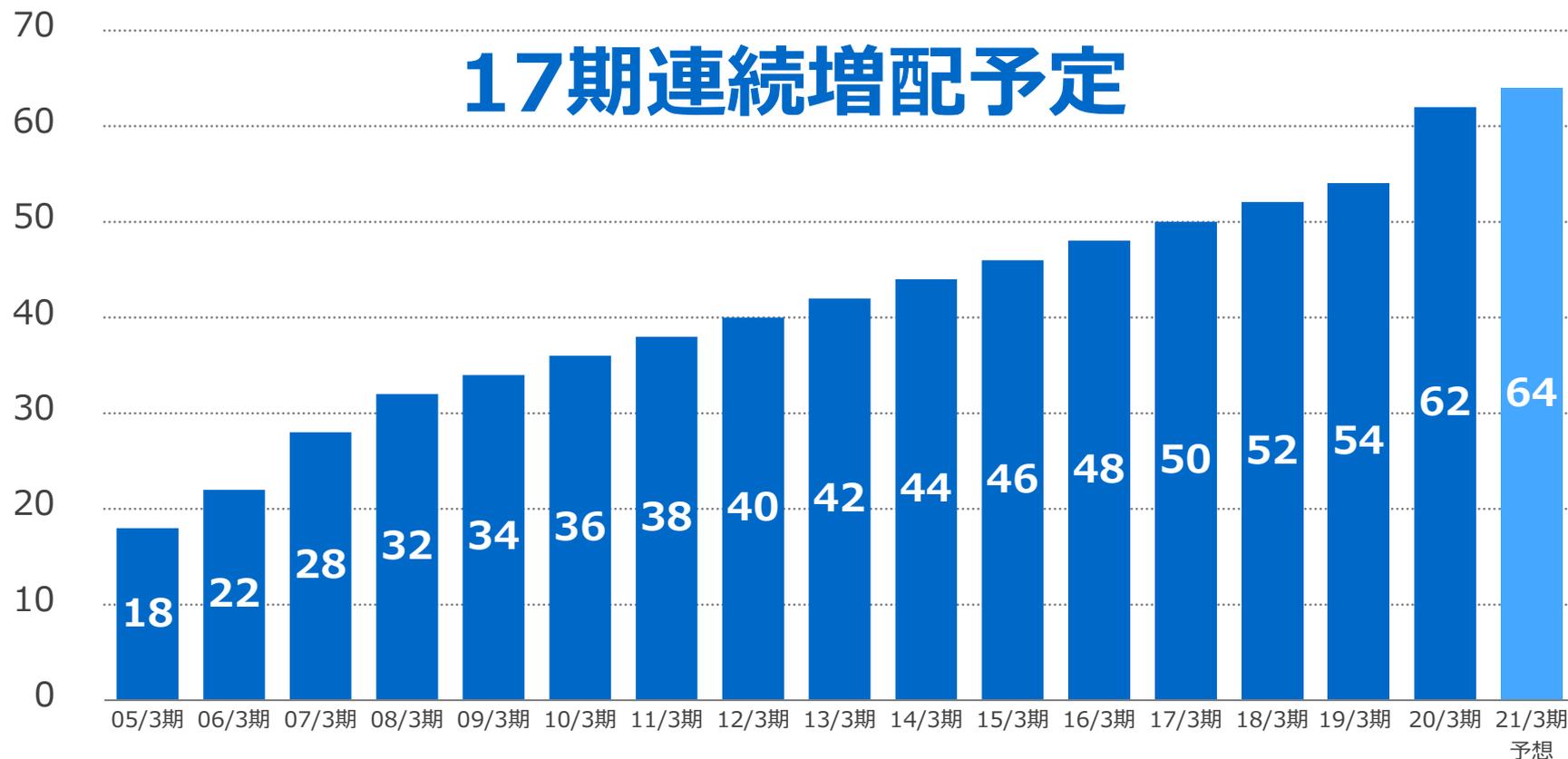
株価動向



株価	単元株式数	必要投資金額	市場
4,310円 (2021年2月26日現在)	100株	431,000円	東証1部



(円) ■ 1株当たりの配当金



配当に関する基本方針

安定配当の継続を基本方針とし、直近5年間通算での配当性向は
30～50% を目安として増配の継続に努めます。

ご清聴ありがとうございました

ホームページ <https://ir.kurita.co.jp/>

本資料は会社紹介を目的として制作しております。

投資判断はご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

ぜひIRサイトもご覧ください



IRトップページ

個人投資家の皆様へ

<https://ir.kurita.co.jp/individual/index.html>

栗田工業 IR

検索

